



(左上) 間接照明や屋内から漏れる光で彩られたKing of the Hill (右上) 2人の投手が同時に投球練習ができるブルペンに設置された高天井用照明器具
(左下) 施設中央に設けられたテラスにはトップライトから自然光が降り注ぐ (右下) 落ち着いた光環境で施設利用者や見学者がくつろげるカフェエリア

(左下) (右上) 写真提供: A3 design Inc.

次世代の「マウンドの王者」を生む 思いが込められた屋内練習施設

2024年11月、花巻東高等学校に隣接して、菊池雄星投手がプロデュースした全天候型複合野球施設「King of the Hill」がオープンした。施設名称は「マウンドの王者」を意味し、メジャーリーグで勝利投手をたたえる言葉に由来しているという。菊池投手が構想開始から約6年間、資金を投じて建設した施設は、初心者の子供からプロ野球選手まで、「野球を愛する全ての人が夢を持つことを応援し、その夢の実現のための環境を整える」ことがめざされている。ブルペンのマウンドには高速撮影カメラや各種センサにより

投球を解析するシステムが組み込まれており、精密なフォーム矯正や球質向上の指導を受けることができる。バッティングエリアでは打撃レーンが2つ設けられ、メジャーリーグでも採用されている自動投球マシンや最新のシミュレーションシステムも導入されている。設計にあたったA3 design Inc.代表取締役の柏木茂洋氏は「建物の中心に『Hill』として中庭を設けた。ここに立てば、建物内が一望できる。部活動の場合はここに集まり、各自の練習メニューに分かれるように計画した。照明計画では自然光を生かしながら、コントラストを重視。間接光とスポットライトを効果的に用いて空間の美しさを追求した」と語る。



King of the Hill

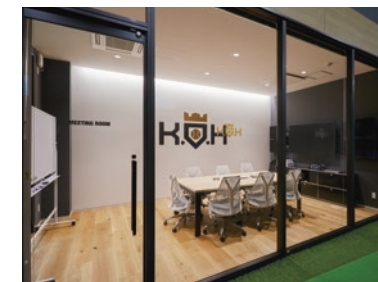
所在地／岩手県花巻市南新田
事業主／菊池雄星
監修／菊池雄星
PM・運営／合同会社K.O.H
設計／A3 design Inc.
建設工事／株式会社伊藤組
電気工事／新高電気株式会社
竣工／2024年11月
規模／延床面積：約1,400m²



間接光で壁面を照らすコーニス照明により
菊池投手の業績を浮かび上がらせているギャラリー



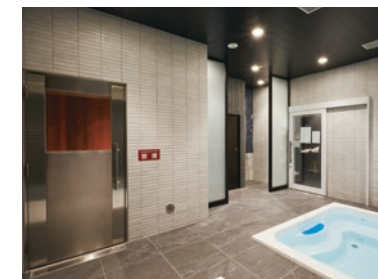
筋力・体力強化のためのジムエリア



間接照明によりK.O.H.のロゴが際立つ
ミーティングルーム



ダウンライトで壁面を浮かび上がらせている
ロッカールーム



リカバリーエリアのサウナ(写真左)とジェットバス



駐車場に設置された
EV・PHEV充電器「ELSEEV hekia S」

施設平面図



- エントランス
- ギャラリー
- カフェエリア
- テラス
- ミーティングルーム
- リカバリーエリア
- ジムエリア
- ブルペン
- バッティングエリア

主な納入設備

- LED建築化照明器具
- LEDダウンライト
- LED高天井用照明器具
- LEDスポットライト
- LEDペンダント
- プロジェクター
- EV・PHEV充電器

King of the Hill